

2026年度

人文・文化学群人文学類

履 修 の 手 引

筑波大学
University of Tsukuba

目 次

まえがき	1
I 主専攻分野とコース	1
II 卒業論文	2
III クラス編成	3
IV 履修規程	4
V 早期卒業	7
VI 各コース教育内容	9
VII 各コース履修規程	14

ま え が き

この『履修の手引』は、全学の『令和8年度履修要覧』に準拠し、人文学類の学生が履修計画をたてる際の手引として作成されたものである。学生は、この『履修の手引』によって人文学類の授業内容と授業計画を理解し、全学の『開設授業科目一覧』に拠って各年度の「履修申請」を行わなければならない。

なお、この『履修の手引』は令和8年度入学者に適用される。

I 主専攻分野とコース

(1) 主専攻・コース名

人文学類には哲学、史学、考古学・民俗学及び言語学の四つの主専攻分野が置かれており、それぞれの主専攻分野は、その内容に応じて次のコースに分かれている。

主 専 攻 分 野	コ ー ス
哲 学	哲学・倫理学, 宗教学
史 学	日本史学, ユーラシア史学 (古代西アジア史, 中国史, ヨーロッパ・アメリカ史), 歴史地理学
考古学・民俗学	先史学・考古学, 民俗学・文化人類学
言語学	一般言語学, 応用言語学, 日本語学, 英語学

(2) コースへの所属

学生は3年次から、上記のうちいずれか一つのコースに所属し、コースごとに定められた履修規程（14頁以下参照）にしたがって専門科目等の科目を履修する。研究主題や関心のあり方によっては、特定のコースに位置づけにくい場合もあるが、同時に二つ（またはそれ）以上のコースに所属することや、いずれのコースにも所属しないことは認められない。

(3) 所属コースの決定

所属するコースは、学生の選択にもとづいて決定される。ただし、コースごとに指定された専門基礎科目を履修していることが受け入れの条件となるため、2年次終了時点までに、それらの専門基礎科目をすべて履修しておかなければならない。

各コースの授業計画は、4年間の全体を通して編成されているので、1・2年次の学生もその点についての十分な配慮が必要である。

(4) コース所属の決定届出

学生は、所属を希望するコースの専任教員1名（人文学類所属）の承認を受け、所定の「主専攻・コース決定届」を下記の要領で届け出なければならない。

届出期間 2年次の1月16日～1月31日

届出場所 人文社会エリア支援室（学群教務担当）

(5) 所属コースの変更

2年次の終わりに選択したコースが、その後の関心の変化等のため適切でなくなった場合には、3年次の11月末までに、現在所属しているコースと新たに所属しようとするコースの教員の承認を受けて、そのコースへの転属を所定の「主専攻・コース転属願」をもって学類長に願い出ることができる。新たなコースへの転属は、願いを出した翌年の4月からとし、年次については学類長が決定する。

所属コースの変更が認められるためには、新たに所属しようとするコースで指定されている専門基礎科目11単位を修得していなければならない。

Ⅱ 卒業論文

人文学類においては、6単位の卒業論文を課している。単位数としては講義・演習の6科目分に相当するが、学生の自主的かつ独創的な研究を重視するという立場から、実際にはそれ以上の比重をもって考えられている。したがって、以下に示す題目届出や論文提出の期限も特段の厳守が求められるので、最大限の注意が必要である。なお、※印は春学期末卒業予定者に係る届出・提出期間である。

(1) 題目予備申請

指導を受けようとする教員に相談して決定した予備題目を所定の「卒業論文題目予備申請用紙」をもって申請する。その際、2名以上の教員の承認が必要であるが、そのうち少なくとも1名は人文学類所属の専任教員の中から選ばなければならない。

なお、原則として、題目の予備申請を行わなかった場合には、正式な題目届出をすることができない。ただし、留学や留年した学生で、一度既に題目予備申請をしている場合は、特に変更のない限り、再び題目の予備申請を行う必要はない。

届出期間 3年次の1月16日～1月31日

※4年次の7月16日～7月31日

届出場所 人文社会エリア支援室（学群教務担当）

(2) 題目届出

題目予備申請を行った学生は、指導教員に相談して決定した題目を所定の「卒業論文題目届」をもって届け出ることができる。その際、2名以上の教員の承諾が必要であるが、そのうち少なくとも1名は、人文学類所属の専任教員の中から選ばなければならない。

なお、本題目届を届け出なかった場合は、卒業論文を提出することができない。

届出期間 4年次の5月16日～5月31日

※4年次の11月16日～11月30日

届出場所 人文社会エリア支援室（学群教務担当）

(3) 題目変更

研究の進展に伴い、届け出た題目が適切でなくなった場合には、2名以上の指導教員（そのうち少なくとも1名は人文学類所属の専任教員であること）の承認を得て「卒業論文題目変更届」を提出することができる。

提出期間 4年次の11月1日～11月15日

※5年次の5月1日～5月15日

提出場所 人文社会エリア支援室（学群教務担当）

(4) 論文提出

卒業予定者は、卒業論文に「卒業論文提出票」を添えて、下記の期間に提出しなければならない。

提出期間 4年次の12月16日～12月25日正午

※5年次の6月16日～6月25日正午

提出場所 人文社会エリア支援室（学群教務担当）

(5) 注意事項

- a. 受付開始日が土曜日または日曜日にあたる場合は翌週の最初の平日とする。
- b. 受付締切日が土曜日にあたる場合は1日繰り上げ、日曜日にあたる場合は1日繰り下げる。
- c. 受付時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、卒業論文の最終日の受付は、正午までとする。
- d. 締切日時に遅れたものは一切受け付けないので、十分に注意しておく必要がある。
- e. 4年次の1月以降に翌年度の春学期末卒業を希望する場合には、所属コースの承諾を得たうえで、4年次の2月末日までに「春学期末卒業希望届」を提出しなければならない。

Ⅲ クラス編成

人文学類の学生は、「クラス」と「専攻クラス」の両方に所属することを原則とする。

- (1) 学生は入学時に、志望する専攻コースと無関係に1クラス約20名をもって5クラスに編成される。このクラスは4年間変更しない。

- (2) 1年次において学生はクラス担任が担当する「ファーストイヤーセミナー」（1単位、金曜日2時限、春学期AB開講）を履修しなければならない。

- (3) これとは別に、3年次および4年次に専攻を決定した学生を対象に、専攻コース別にクラスが編成される。これを「専攻クラス」と呼ぶ。

- (4) 専攻クラス担任には、専攻コースの教員1名があたる。

Ⅳ 履修規程

以下に示す規程は、すべてのコースに共通して適用される。なお、この規程は、「筑波大学学群学則」及び「人文・文化学群履修細則」に則り、人文学類の学生を対象として教育課程の詳細を定めたものである。

1. 卒業単位 124 単位

科目区分別指定卒業単位数

科目区分	専門科目	単位数	専門基礎科目	単位数	基礎科目				合計
					共通科目	単位数	関連科目	単位数	
必修科目	卒業論文 卒業研究	6 4			総合科目 (ファーストイヤー セミナー、学問への誘い)	2			28
					体育 第1外国語 第2外国語 情報 国語	2 4 4 4 2			
	小 計	10				18			
選択科目	哲学主専攻 史学主専攻 考古学・民俗学主専攻 選択① 選択②	20 24～58	選択①(注1) 選択②(注2) 哲学主専攻 史学主専攻 考古学・民俗学主専攻 言語学主専攻	11 0～7 0～9 0～5 0～10	総合科目 (学士基盤科目)	1～3	AA2, AC, AE, B, Y で始まる授業科目 (専門科目、専門基礎科目として履修した授業科目を除く)	4～32	96 (注3)
	言語学主専攻 選択① 選択②	18 26～60				0～14	C, E, F, G, H, W で始まる授業科目 (専門科目として履修した授業科目を除く)	2～30	
							8で始まる授業科目	0～10	
							教職に関する科目	0～10	
							博物館に関する科目	0～10	
	小 計	44～78		11～16-21		1～17		6～34	
合計		54～88		11～16-21		19～35		6～34	124 (注4)

(注1) コース別に指定された科目から11単位を選択履修する。

(注2) コース別に指定された科目から、それぞれに定められた上限単位数まで選択履修することができる。

(注3) 卒業に必要な単位数を示す。なお、各単位数欄に示した単位数(選択幅がある場合は最低単位数)は必ず取得しなければならない。

(注4) 卒業に必要な単位数を示す。

2. 科目の規程

(1) 専門科目（コースごとに指定）

〔必修科目〕：10 単位「卒業論文」及び「卒業研究」（〇〇研究 -a, 〇〇研究 -b）

〔選択科目〕：44 ～ 78 単位（人文学類開設の専門科目及びコース別に指定された他学類の科目）

哲学主専攻，史学主専攻，考古学・民俗学主専攻

選択科目①：20 単位…当該コースが指定する専門科目

選択科目②：24 ～ 58 単位…当該コースが指定する主専攻・他学類で開設する科目

言語学主専攻

選択科目①：18 単位…当該コースが指定する専門科目

選択科目②：26 ～ 60 単位…当該コースが指定する主専攻・他学類で開設する科目

(2) 専門基礎科目（コースごとに指定）

〔選択科目〕：11 単位…専門科目履修の前提として各コースが指定する，入門，通論，概説，概論等の科目（選択科目①）。1・2 年次に履修する。

以上のほか，コース別に定められた科目を専門基礎科目として履修することができる（選択科目②）。

主専攻決定時に，それぞれの主専攻の卒業要件に適合するように，それまでに修得した専門科目および専門基礎科目の単位を各自で振り分ける。

(3) 基礎科目（人文学類共通）

① 共通科目：18 単位

〔必修科目〕 総合科目：2 単位（ファーストイヤーセミナー，学問への誘い）

第 1 外国語：4 単位 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，ロシア語，スペイン語，韓国語から一つ選択。

第 2 外国語：4 単位 第 1 外国語とは異なる外国語を一つ選択。

※英語，ドイツ語，フランス語，ロシア語，スペイン語については公益法人等が実施する技能審査検定における成果に係る学修で代えることができる。詳しくは「履修要覧」で確認すること。

体 育：2 単位（1 年次に 1 科目，2 年次に 1 科目を履修）

情 報：4 単位

国 語：2 単位

〔選択科目〕 総合科目：1 ～ 3 単位（学士基盤科目）

体育，外国語，芸術：0 ～ 14 単位

②関連科目

〔選択科目〕：6～34単位

AA2, AC, AE, B, Yで始まる授業科目（専門科目，専門基礎科目として履修した授業科目を除く）：4～32単位

C, E, F, G, H, Wで始まる授業科目（専門科目として履修した授業科目を除く）：2～30単位

8で始まる科目：0～10単位

教職に関する科目：0～10単位

博物館に関する科目：0～10単位

3. 履修科目の登録の上限

事前・事後の準備学習・復習も含め，個々の授業において十分な学習量を確保するために，履修科目の登録単位数に上限を設けることとする(学群学則第33条参照)。この履修科目登録単位数の上限については，次のとおりとする。

- (1) 学生が1年間に履修科目として登録することができる単位数は，45単位までとする。

ただし，

①教職に関する科目及び博物館に関する科目については，上記の単位数に含めない。

②学生は，当該年度の途中で開設が決定された授業科目（例えば，非常勤講師による集中授業科目）については，その都度履修申請することができる。この場合の履修登録可能な単位数は，9単位までとする。

③学類長は，特別な事情のある学生については，学類教員会議の議を経て，45単位を超える履修を認めることができる。ただし，この場合の履修登録可能な単位数は，9単位までとする。

- (2) 以下の要件を満たし，人文学類教員会議の承認を経て，人文・文化学群長が許可した学生は，通常の場合の上限45単位に9単位を加え，1年間に54単位まで履修科目として登録することができる。

〔上限45単位を超える履修登録を申請するための要件〕

前年度において，卒業要件として修得すべき単位を36単位以上修得し，その80%以上を「A⁺」「A」の評価で修得していること。

〔上限45単位を超える履修登録を申請する時期〕

上限45単位を超える履修登録の申請は，所定の用紙（「上限45単位を超える履修登録の許可願」）により，原則として，4月の第2月曜日までに行わなければならない。

届出場所 人文社会エリア支援室（学群教務担当）

上記の手続きにより，上限45単位を超える履修登録を許可された者は，「年間45単位を超える履修申請願」を履修申請期限内に提出しなければならない。提出場所は上記と同じ場所とする。

なお，当該年度の途中で開設が決定された授業科目（例えば，非常勤講師による集中授業科目）については，上限45単位に加算される上記の9単位とは別に，9単位までを限度として履修申請することができる。

4. 履修上の注意

- (1) 年間 15 単位を修得することができないときは、学群学則第 54 条（3）の規程により除籍される場合があるので、特に留意する必要がある。
- (2) 4 年次生で、年度当初において、15 単位未満の単位修得により卒業要件を満たすことができる者が卒業を延期せざるを得なくなった場合は、速やかに「特別履修許可願」を提出しなければならない。
- (3) 標準履修年次として上級年次に指定された科目を下級年次の学生は、原則として履修できない。
- (4) 当該科目を履修するために必要な既履修科目が指定されているものについては、その条件を充足していない限り、原則として履修できない。
- (5) 前条の条件を充足していない学生が特に希望する場合には、既履修を前提とした科目の並行履修を条件としてそれを許可することがある。
- (6) 各コースの履修規程（14 頁以下参照）に示された単位数に満たないかたちで開講された科目は、その単位数をもって履修したものと認める。これによって生じた不足単位数は、学類長が指定する当該コースの他の科目をもって当てることとする。
- (7) 各コースの開設授業科目は、学類長の指示により、一部が臨時に変更されることがある。変更内容は、履修申請の締切日以前に公示される。
- (8) 入学年度以降に人文学類において新たに開設された専門科目および専門基礎科目については、「履修の手引」に記載がない場合であっても、専門科目・選択①②の単位として算入できるものとする。新設科目の取扱いについては、随時通知するので、各自確認すること。

V 早期卒業

3 年以上 4 年未満の期間で卒業に必要な単位数を優れた成績で修得できた者は、本人が希望し、かつ大学が適切と認める場合に、例外的に 3 年以上 4 年未満の在学で卒業することができる（学群学則第 40 条参照）。この早期卒業については、次のとおりとする。

(1) 早期卒業の認定を受けようとする者の要件

- ① 2 年次を終了する時点において、当該主専攻が指定する専門基礎科目 11 単位および専門科目の単位をほぼ修得している者。
- ② 2 年次の終了時（秋学期入学者は 3 年次春学期末）までに修得した単位のうち、卒業の要件となる単位の 90% 以上を「A⁺」「A」の評価で修得している者。

早期卒業予定者については、人文学類教育課程委員会において、上記①、②の要件に基づき審査の上、学類教員会議で早期卒業予定者として適格かどうかの判定を行う。

(2) 早期卒業の申請時期

早期卒業の申請は、所定の用紙（「早期卒業予定者としての認定を受けるための許可願（春学期入学者用）」）により、原則として、3年次の4月の第2月曜日までに行わなければならない。

(3) 早期卒業を認定するための基準

- ① 本学に3年以上在学し、卒業の要件として定められている所定の単位の90%以上を「A⁺」「A」の評価で修得したと認められること。
- ② 修得した専門科目及び専門基礎科目の合計単位の90%以上を「A⁺」「A」の評価の優秀な成績で修得したと認められること。
- ③ 卒業論文の内容が特に優秀であると認められること。

早期卒業の認定については、まず人文学類教育課程委員会に設置される「早期卒業予定者論文審査委員会」において、上記の基準にもとづき審査し、さらに人文学類教育課程委員会において、上記①～③の基準に基づき審査の上、人文学類教員会議及び人文・文化学群運営委員会で認定する。

(4) 卒業の時期

卒業の時期は、3年次の学年末又は4年次の春学期末とする。

(5) 卒業論文の着手と卒業研究の履修に関する特例

人文学類教員会議において早期卒業予定者として適格と判定された者は、標準履修年次が4年次となっている卒業研究を3年次において履修することができ、卒業論文についても同じく3年次から着手することができる。

(6) 早期卒業予定者の卒業論文に関する届出・提出期間は次のとおりとする。

① 3年次学年末卒業予定者に係る届出・提出期間

- | | | | |
|---|--------|------|---------------------|
| ア | 題目予備申請 | 届出期間 | 3年次の5月1日～5月15日 |
| イ | 題目届出 | 届出期間 | 3年次の6月16日～6月30日 |
| ウ | 題目変更 | 提出期間 | 3年次の11月1日～11月15日 |
| エ | 論文提出 | 提出期間 | 3年次の12月16日～12月25日正午 |

② 4年次春学期末卒業予定者に係る届出・提出期間

- | | | | |
|---|--------|------|-------------------|
| ア | 題目予備申請 | 届出期間 | 3年次の10月1日～10月15日 |
| イ | 題目届出 | 届出期間 | 3年次の11月16日～11月30日 |
| ウ | 題目変更 | 提出期間 | 4年次の5月1日～5月15日 |
| エ | 論文提出 | 提出期間 | 4年次の6月16日～6月25日正午 |

上記の①、②のいずれの場合にも人文社会エリア支援室（学群教務担当）が届出・提出先となる。
また、上記の届出・提出期間については、「Ⅱ卒業論文」の（5）a-dの記載事項に従うこととする。

(7) 早期卒業に関しては、必要に応じてクラス担任や指導教員あるいは各コースの教育課程委員に相談すること。

Ⅵ 各コース教育内容

哲学主専攻（哲学・倫理学コース）

日常的・断片的な事実や生活に埋没することなく、確固として一貫した原理を求める学問が哲学・倫理学である。そのためには、学ぶ者はいったん日常性や事実のレベルをはなれ、論理的・規範的視点に立つことが要請される。そこでは世界や人間関係の意味を根源的に問い、それを再構成し体系化することを通じて、この世界のうちでよりよく生きる途を探求しつづけなければならない。そこに学びとられ、育まれるのは、強靱な思考力と豊かな感受性、批判と創造の精神、そして鋭敏な洞察力である。

哲学・倫理学コースでは、哲学・倫理学の対象ならばどのような研究も可能であるが、何を学ぶにしても根源的な問いを常に抱きつづけ、思想的知識と現代的関心に支えられた広い視野に立たなければならない。そのための基礎として語学力が重視されるので、研究分野に応じた語学に習熟しておくことが必要である。

なお、卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

哲学主専攻（宗教学コース）

当コースでは、宗教経験・儀礼・神話・教義・信仰共同体などを含む多様な宗教現象を歴史的かつ体系的に研究し教育することを目指している。そうした宗教研究を通して、人間と宗教との本質的な関わりを認識することができ、ひいては世界の人々の相互理解を深めることができると考えられる。人間の宗教性は、聖なるものへの根源的な志向性の中に見ることができるが、そこに考察の眼差しを向ける宗教学の視点は、単に人間のみならず、自然環境や生命倫理などをめぐる現代の諸問題を考える上でも、重要な意味をもつことであろう。

宗教学コースのカリキュラムは、多様な研究分野に対応して、東洋・西洋の宗教思想や思想史を幅広く多角的に学べるように構成されている。また、思想史上の重要人物や共通のテーマ（例えば、時間論、言語論、生命観など）を取り上げて、諸地域の思想を比較研究することも、当コースの専門領域に属している。

基本文献を読解するためには、研究分野に応じた語学に習熟しておくことが必要となる。

なお、卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

史学主専攻（日本史学コース）

日本列島で生活を営んできた人々の足跡を、時代や地域を問うことなく、あらゆる視点から明らかにすることが日本史学コースの目的である。それを単に「日本国の歴史学」という枠組みで考えるのではなく、アジア、さらには世界の諸民族の歴史との比較のなかで、どのような独自性もしくは共通性があるのかを、政治・経済・社会はもとより、思想・文化・生活などのあらゆる分野について究明している。したがって、隣接するユーラシア史学・歴史地理学・民俗学・考古学などのほか、比較文化学類や日本語・日本文化学類との密接な連携のもとに学習できるような配慮を行っている。

同時に、日本史学を学習する方法として、本コースでは、主に文献史料の綿密な読解・批判方法の習得を基礎にすえ、そのうえに確実な歴史を「考える力」が身につくよう、カリキュラムの編成にも工夫している。たとえば、史資料調査や史跡見学を行う実習（フィールドワーク）を取り入れ、人々の歴史が営まれた「場」に立って追体験するとともに、2年生から演習を受講することも可能としている。また、卒業の要件として、400字詰原稿用紙に換算して100枚程度の分量の卒業論文の提出を課していることも、本コースの特徴といえる。

なお、卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

史学主専攻（ユーラシア史学コース 古代西アジア史）

本サブコースは、現在のイラク、シリア、トルコなどが位置する西アジアの古代史について学ぶ。古代西アジア世界では都市が誕生し、そして何よりも文字が発明された。この最古の文字体系である楔形文字が用いられていた紀元前四千年紀末期から紀元後一千年紀初頭までの古代西アジア世界の歴史を学習、研究する。特に、紀元前二千年紀と紀元前一千年紀のメソポタミアとアナトリアにおける政治史、文化史、宗教史、社会・経済史に重点を置いている。

本サブコースにおいては、古代西アジア世界の歴史の流れ全体を大きく把握するとともに、楔形文字文化圏を中心とする古代西アジア世界に関わるテーマを定めて研究することが要求されている。古代西アジア史を研究する学生にとって、楔形文字アッカド語文書の読解能力の習得は必須である。また、近代外国語は、英語とドイツ語を必要とし、研究対象地域に応じて、その他の言語を履修することが望まれる。

古代西アジア史研究は他の学問分野とも密接に関連している。学生には、必修の科目の他、特に考古学と一般言語学において開設されている科目の選択・履修を薦める。

なお、卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

史学主専攻（ユーラシア史学コース 中国史）

本サブコースでの学びは、「中国史」を疑うことから始まる。「中国史」の名のもとに過去を整理することは、いかなる視座に立つことを意味するのであろうか。一般的にいう「中国史」は漢地（黄河・長江の中・下流域）の漢民族を主体・中心とする歴史叙述であるが、それは近代以降の政治状況を過去にさかのぼらせた見方であり、そのような枠組みを無自覚・無批判に受け入れた時点で、前近代史のみならず近現代史に対する認識もまた硬直してしまう。まずもって「中国史」という枠組みを近現代の創作物として受け止めた上で、それが私たちの歴史観を拘束するに至る経緯をも視野に入れながら、ユーラシア大陸東方の歴史を根底から捉え直すことが求められる。

清朝時代（1636-1912）は、上述した問題の原点に位置する。そこで本サブコースのカリキュラムは、清朝を中心としつつ、それ以前の諸王朝の歴史とそれ以後の中華民国・中華人民共和国の歴史にも理解を深められるように構成している。主たる史料となる漢文史料を読解する演習は一年次から、専門的な研究論文を講読するゼミは二年次から履修可能であり、卒業論文執筆に向けて長期的に研究能力を研鑽する場を用意している。また、清朝の国語であったマンジュ（満洲）語やチベット語史料について学べることも本サブコースの特色である。なお、研究動向を正しく理解するためには、中国語と英語の十分な読解能力が求められる。

なお、卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

史学主専攻（ユーラシア史学コース ヨーロッパ・アメリカ史）

本サブコースは、古典古代に始まり、現代の東欧・西欧及びアメリカに至る欧米世界の歴史を、その政治、宗教、社会、経済、文化の各分野にわたって学習・研究することを目的とする。学生には、ヨーロッパ・アメリカ文化史の流れを幅広く把握しつつ、テーマを定めてより深く研究することが要求される。

本学のヨーロッパ・アメリカ史サブコースの学生には、原典史料を精読し、欧米の専門家による最先端の研究を把握したうえでテーマに取り組むことが求められる。このため、本サブコースの学習にはヨーロッパの各国語の修得が必須となる。英語の他にドイツ語あるいはフランス語等の第二外国語を最低限の必修科目

とし、アメリカ史を希望する学生は、スペイン語の履修も望まれる。

人文学類に在籍する学生で、ヨーロッパ史並びにアメリカ史を希望する学生には、比較文化学類及び国際総合学類において開設されている関連科目を選択・履修することを勧める。

なお、卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

史学主専攻（歴史地理学コース）

歴史地理学は、過去の人間集団の営みを明らかにするという点では歴史学と共通する内容をもつが、地域や空間、景観、環境といった地理学で発達してきた基礎概念をふまえて、過去の人間集団が地表面をいかに組織し、生きてきたかを追究する。そのため学問の本質論や方法論からは、一般的には地理学の一分野に位置づけられる。歴史地理学コースでは、地理学の系統地理学に対応する内容として歴史地理学概説、地誌学に対応する内容として歴史地誌学、歴史研究への地理学的方法の応用として歴史地理学研究法を開講している。そして、地球学類の人文地理学関係の科目をカリキュラムに取り込み、地理学への理解が進むように工夫している。歴史地理学は地理学の一分野として位置づけられるとはいえ、歴史研究である以上、歴史学への理解が不可欠である。史学入門は必修科目であるうえ、史学主専攻の概説科目は選択必修となっており、史学主専攻の他コースの専門科目も積極的に履修することが望まれる。また、考古学・民俗学主専攻の科目も可能な限り履修し、過去の人間集団の営みに関する幅広い見方を身に付けて欲しい。

卒業後の進路として、大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

考古学・民俗学主専攻（先史学・考古学コース）

考古学（Archaeology）と先史学（Prehistory）は、ともに物質資料（遺跡・遺物）を素材として、これらに関わった人々の歴史の復元と解釈を行う学問分野である。前者が人文科学的な方法に立脚して文化史的側面を主たる研究対象とするのに対して、後者は自然科学的方法に重点を置く人類史の立場から研究を行う傾向があるが、両者は多くの点で共通するため、「先史学・考古学」という1つの研究分野と捉えてよい。

学類の課程では、基礎知識の修得とともに、発掘調査などのフィールドワークならびに出土考古資料の研究といった基礎的技術の修得が不可欠である。また、より広い視野の研究を可能にするため、語学力を身につけることが望まれるほか、関連諸学の知識－例えば史学、民俗学、文化人類学、形質人類学、分析化学、地質学－の修得も推奨される。

卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

考古学・民俗学主専攻（民俗学・文化人類学コース）

民俗学は儀礼・信仰・社会・経済などの伝承資料を対象として日本の日常の暮らしと文化を探求し、文化人類学は我々とは異なる文化的営みと科学者を含む我々自身の営みをシンメトリックに研究する。いずれもフィールドワークにもとづき、人々の行動様式を生活文化の中で理解する学問であるため、学生は少なくとも2回の野外実習に参加して、調査力を充実させ、学問的に考察する能力を養うことが求められる。

講義では柳田国男以来の民俗学が蓄積してきた民俗論や民俗史料論、マリノフスキーやレヴィ＝ストロースをはじめとする古典的な人類学理論からポスト構造主義および科学技術論にいたる幅広い理論を学ぶ。演習では学問的観点から自分で問題を立て、調査をもとに論理的に表現する訓練を行う。英語で書かれた研究論文やエスノグラフィを読破できる語学力が求められ、比較民俗論を希望する学生は中国語や韓国語などの

修得が望ましい。こうして育まれた能力を総動員して卒業研究に取り組む。身近な問題を取り上げながら、人間にとって根源的な経験を記述し理論化することが期待される。

なお、卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

言語学主専攻（一般言語学コース）

一般言語学コースでの研究には、大きく分けて2つの目標がある。本コース所属の学生には、その一方ないしは両方の達成を目指し、学修を深めていくことが求められる。1つは、特定の個別言語の枠にとらわれず、実証的な言語研究の方法を考究し、それを実践することである。特定の個別言語の枠にとらわれないため、全学共通科目の初修外国語でも人文学類の専門コースでも設置されていない個別言語を研究することや、複数の個別言語を視野に入れた研究をおこなうことができる。

もう1つの目標は、1年次の初修外国語の学修を基礎として、その言語の構造や規則、背景を成す文化等についての理解を更に深めていき、学問としての言語研究に昇華させることである。本コースでは、中国語学、仏語学、独語学、露語学といった個別言語研究のカリキュラムが用意されている。

卒業生は、幅広い言語ないし個別の言語と文化等に関する深い理解を生かして企業人、公務員、教員等として活躍している。大学院等に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道も開かれている。

言語学主専攻（応用言語学コース）

応用言語学（applied linguistics）は、個人と社会のレベルで言語のかかわる実際的な諸問題の解決を目的とした学問である。その主要な領域には英語教育学・教育言語学・社会言語学・コーパス言語学・文章論等が含まれている。したがって、応用言語学を専攻する学生は、言語学の基本的知識と方法を身につけるとともに、応用言語学の各領域についての理解を深め、現実の言語問題に対する感受性とその解決の能力を育てることが期待されている。

なお、卒業後は企業への就職、公務員、教員のほか、大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

言語学主専攻（日本語学コース）

日本語を、世界の諸言語の中の一つとして捉え直すことから研究が始まる。現代の日本語から古代の日本語まで、日常の会話から源氏物語・万葉集の日本語まで、研究対象とする日本語の範囲も広い。本コースでは講義や演習を通じて、音韻・表記・文法・語彙など多方面から日本語の特徴・歴史を学び、自分で日本語を分析する力を養っていく。言語学の基礎や諸言語の知識を身に付けていることも望ましいが、最も身近なことば「日本語」への興味が研究の原動力である。

なお、卒業後は企業への就職、公務員、教員のほか、大学院に進学し、研究者や高度職業人を目指す道が開かれている。

言語学主専攻（英語学コース）

英語学コースでは、英語という個別言語の本質に迫る科学的な研究が意図されている。その学問内容は広範多岐にわたり、現代標準英語に限っても、音韻論、形態論、統語論、文法論、意味論、語用論などの分野があり、これらを、それぞれ、時代の流れに沿った形で研究する史的研究も含まれる。最近の英語学は、

言語における普遍性を追求する一般言語理論と密接不離の関係にあり、英語を日本語と比較し、その性質を解明しようとする対照研究も盛んである。

授業科目には、概論、講義、演習、講読、研究等が用意され、密度の高い学習と研究を可能にしており、同時に、英語学研究に必要とされる英語の基礎的運用能力を養うための配慮もなされている。しかし、それらは、同時通訳者や翻訳実務家の養成を一次的な目的とするものではないことに留意する必要がある。

なお、卒業後は大学院に進学し、研究者や高度専門職業人を目指す道が開かれている。

VII 各コース履修規程

哲学主専攻（哲学・倫理学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門基礎科目（11～18単位）	選択①（11単位）	人文・文化学群3学類が開設する専門導入科目	各1	○				3	対象科目の詳細については別表第1を参照（43頁）
		哲 学 通 論 - a	1	○	○			1	比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 2単位を 上限とする。
		哲 学 通 論 - b	1	○	○			1	
		倫 理 学 通 論 - a	1	○	○			1	
		倫 理 学 通 論 - b	1	○	○			1	
		宗 教 学 通 論 - a	1	○	○			4	
		宗 教 学 通 論 - b	1	○	○				
		東 洋 思 想 - a	1	○	○				
		東 洋 思 想 - b	1	○	○				
		現 代 思 想 概 論	1	○	○				
	比 較 宗 教 概 論 I	1	○	○					
	比 較 宗 教 概 論 II	1	○	○					
	選択②	コース指定の専門基礎科目		○	○			0～7	AC, AE から始まる専門導入科目を除く
必修（10単位）		卒業論文（哲学・倫理学）	6				○	6	
哲学・倫理学研究 - a	2				○	2			
哲学・倫理学研究 - b	2				○	2			
専門科目（54～88単位）	選択①（20単位）	哲 学 特 講 I - a	1		○	○	○	10	
		哲 学 特 講 I - b	1		○	○	○		
		哲 学 特 講 II - a	1		○	○	○		
		哲 学 特 講 II - b	1		○	○	○		
		哲 学 特 講 III - a	1		○	○	○		
		哲 学 特 講 III - b	1		○	○	○		
		哲 学 特 講 IV - a	1		○	○	○		
		哲 学 特 講 IV - b	1		○	○	○		
		哲 学 史 I - a	1		○	○	○		
		哲 学 史 I - b	1		○	○	○		
		哲 学 史 II - a	1		○	○	○		
		哲 学 史 II - b	1		○	○	○		
		哲 学 史 III - a	1		○	○	○		
		哲 学 史 III - b	1		○	○	○		
		哲 学 史 IV - a	1		○	○	○		
		哲 学 史 IV - b	1		○	○	○		
		倫 理 学 特 講 I - a	1		○	○	○		
		倫 理 学 特 講 I - b	1		○	○	○		
		倫 理 学 特 講 II - a	1		○	○	○		
		倫 理 学 特 講 II - b	1		○	○	○		

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88単位)	選択① (20単位)	倫理学特講Ⅲ - a	1		○	○	○	10	
		倫理学特講Ⅲ - b	1		○	○	○		
		倫理学特講Ⅳ - a	1		○	○	○		
		倫理学特講Ⅳ - b	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅰ - a	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅰ - b	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅱ - a	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅱ - b	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅲ - a	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅲ - b	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅳ - a	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅳ - b	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅴ - a	1		○	○	○		
		倫理思想史Ⅴ - b	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅰ - a	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅰ - b	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅱ - a	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅱ - b	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅲ - a	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅲ - b	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅳ - a	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅳ - b	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅴ - a	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅴ - b	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅵ - a	1		○	○	○		
		哲学演習Ⅵ - b	1		○	○	○		
		哲学史演習Ⅰ - a	1		○	○	○		
		哲学史演習Ⅰ - b	1		○	○	○		
		哲学史演習Ⅱ - a	1		○	○	○		
		哲学史演習Ⅱ - b	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅰ - a	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅰ - b	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅱ - a	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅱ - b	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅲ - a	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅲ - b	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅳ - a	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅳ - b	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅴ - a	1		○	○	○		
		倫理学演習Ⅴ - b	1		○	○	○		

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54～88単位)	選択① (20単位)	倫 理 学 演 習 VI - a	1		○	○	○		
		倫 理 学 演 習 VI - b	1		○	○	○		
		倫 理 思 想 史 演 習 I - a	1		○	○	○		
		倫 理 思 想 史 演 習 I - b	1		○	○	○		
	選択② (24～58単位)	人文学類開設の専門科目・ 専門基礎科目（コース指定 の専門基礎科目を除く）			○	○	○	24～58	比較文化学類の科目は10単位を 上限とする。指定するのは下記 の科目。 ACで始まる科目（思想文化領 域）、及び、先端文化学研究Ⅴ、 先端文化学研究Ⅵ、先端文化学 演習Ⅰ、先端文化学演習Ⅱ、文 化創造論研究Ⅰ、文化創造論研 究Ⅱ、文化創造論研究Ⅳ、文化 創造論研究Ⅴ、文化創造論演習 Ⅴ、文化創造論演習Ⅵ
		比較文化学類の科目			○	○	○		

哲学主専攻（宗教学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門基礎科目 （11 ～ 18単位）	選択① （11単位）	人文・文化学群3学類が開設する専門導入科目	各1	○				3	対象科目の詳細については別表第1を参照（43頁）
		宗 教 学 通 論 - a	1	○	○			1	比較文化学類開設 比較文化学類開設 比較文化学類開設 ここからは 2単位を 上限とする。
		宗 教 学 通 論 - b	1	○	○			1	
		東 洋 思 想 - a	1	○	○			1	
		東 洋 思 想 - b	1	○	○			1	
		哲 学 通 論 - a	1	○	○			4	
		哲 学 通 論 - b	1	○	○				
		倫 理 学 通 論 - a	1	○	○				
		倫 理 学 通 論 - b	1	○	○				
		比 較 宗 教 概 論 I	1	○	○				
	比 較 宗 教 概 論 II	1	○	○					
	現 代 思 想 概 論	1	○	○					
	選択②	コース指定の専門基礎科目		○	○			0～7	AC, AE から始まる専門導入科目を除く
専門科目 （54 ～ 88単位）	必修 （10単位）	卒 業 論 文（宗 教 学）	6				○	6	
		宗 教 学 研 究 - a	2				○	2	
		宗 教 学 研 究 - b	2				○	2	
	選択① （20単位）	宗 教 学 - a	1		○	○		8	
		宗 教 学 - b	1		○	○			
		宗 教 哲 学 - a	1		○	○	○		
		宗 教 哲 学 - b	1		○	○	○		
		比 較 思 想 論 - a	1		○	○	○		
		比 較 思 想 論 - b	1		○	○	○		
		東 洋 宗 教 思 想 史 - a	1		○	○	○		
		東 洋 宗 教 思 想 史 - b	1		○	○	○		
		西 洋 宗 教 思 想 史 - a	1		○	○	○		
		西 洋 宗 教 思 想 史 - b	1		○	○	○		
		宗 教 学 特 講 - I	1		○	○	○		
		宗 教 学 特 講 - II	1		○	○	○		
		宗 教 学 特 講 - III	1		○	○	○		
		宗 教 学 特 講 - IV	1		○	○	○		

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88単位)	選択① (20単位)	宗 教 学 演 習 I - a	1		○	○	○	12	
		宗 教 学 演 習 I - b	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 I - c	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 II - a	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 II - b	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 II - c	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 III - a	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 III - b	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 III - c	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 IV - a	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 IV - b	1		○	○	○		
		宗 教 学 演 習 IV - c	1		○	○	○		
		東洋宗教思想史演習 I - a	1		○	○	○		
		東洋宗教思想史演習 I - b	1		○	○	○		
		東洋宗教思想史演習 I - c	1		○	○	○		
		東洋宗教思想史演習 II - a	1		○	○	○		
		東洋宗教思想史演習 II - b	1		○	○	○		
		東洋宗教思想史演習 II - c	1		○	○	○		
		西洋宗教思想史演習 - a	1		○	○	○		
		西洋宗教思想史演習 - b	1		○	○	○		
		西洋宗教思想史演習 - c	1		○	○	○		
		宗 教 哲 学 演 習 - a	1		○	○	○		
		宗 教 哲 学 演 習 - b	1		○	○	○		
		宗 教 哲 学 演 習 - c	1		○	○	○		
		インド古典語初級 A	1		○	○	○		比較文化学類開設
		インド古典語初級 B	1		○	○	○		比較文化学類開設
		インド古典語中級 A	1		○	○	○		比較文化学類開設
		インド古典語中級 B	1		○	○	○		比較文化学類開設

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専 門 科 目 (54 ～ 88 単 位)	選 択 ② (24 ～ 58 単 位)	人 間 社 会 と 宗 教	1		○	○	○	12 ～ 24	「他学類の科目」は以下の科目 に限る。 比較文化学類：AC65 で始まる 科目、及び、アジア文化資料研究 演習Ⅰ～Ⅳ，比較文化地理学Ⅰ・ Ⅱ，比較文化地理学演習Ⅰ・Ⅱ 地球学類：人文地理学
		宗 教 学 実 習 - A	1		○	○	○		
		宗 教 学 実 習 - B	1		○	○	○		
		人文学類哲学主専攻の専門 科目（選択①に記載された もの）			○	○	○	0 ～ 6	
		人文学類開設の史学主専 攻、考古学・民俗学主専攻、 言語学主専攻の専門科目			○	○	○		
		他学類の科目			○	○	○	0 ～ 6	
		人文学類開設の専門科目・ 専門基礎科目（コース指定 の専門基礎科目を除く）		○	○	○	○	0 ～ 34	

史学主専攻（日本史学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門基礎科目 (11～20単位)	選択① (11単位)	人 文 ・ 文 化 学 群 3 学 類 が 開 設 す る 専 門 導 入 科 目	各 1	○				3	対象科目の詳細については別表第 1 を参照(43 頁)
		日 本 史 概 説 I - a	1	○	○			1	
		日 本 史 概 説 I - b	1	○	○			1	
		日 本 史 概 説 II - a	1	○	○			1	
		日 本 史 概 説 II - b	1	○	○			1	
		中 国 史 概 説 - a	1	○	○			4	
		中 国 史 概 説 - b	1	○	○				
		古 代 西 ア ジ ア 史 概 説 - a	1	○	○				
		古 代 西 ア ジ ア 史 概 説 - b	1	○	○				
		ヨ ー ロ ッ パ 史 概 説 - a	1	○	○				
		ヨ ー ロ ッ パ 史 概 説 - b	1	○	○				
		歴 史 地 理 学 概 説 - a	1	○	○				
		歴 史 地 理 学 概 説 - b	1	○	○				
	選択②	コ ー ス 指 定 の 専 門 基 礎 科 目		○	○			0 ～ 9	AC, AE から始まる専門 導入科目を除く
専門科目 (54～88単位)		必修 (10単位)	卒 業 論 文 (日 本 史 学)	6				○	6
	日 本 史 研 究 - a		2				○	2	
	日 本 史 研 究 - b		2				○	2	
	選択① (20単位)	日 本 史 史 料 学 I - a	1		○	○		4	
		日 本 史 史 料 学 I - b	1		○	○			
		日 本 史 史 料 学 II - a	1		○	○			
		日 本 史 史 料 学 II - b	1		○	○			
		日 本 史 史 料 学 III - a	1		○	○			
		日 本 史 史 料 学 III - b	1		○	○			
		日 本 史 特 講 I - a	1		○	○	○	4	
		日 本 史 特 講 I - b	1		○	○	○		
		日 本 史 特 講 II - a	1		○	○	○		
		日 本 史 特 講 II - b	1		○	○	○		
		日 本 史 特 講 III - a	1		○	○	○		
		日 本 史 特 講 III - b	1		○	○	○		
		日 本 史 特 講 IV - a	1		○	○	○		
		日 本 史 特 講 IV - b	1		○	○	○		
		日 本 史 特 講 V - a	1		○	○	○		
		日 本 史 特 講 V - b	1		○	○	○		
日 本 史 特 講 VI - a	1		○	○	○				
日 本 史 特 講 VI - b	1		○	○	○				

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88 単位)	選択① (20単位)	日 本 史 演 習 I - a	2		○	○	○	10	
		日 本 史 演 習 I - b	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 II - a	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 II - b	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 III - a	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 III - b	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 IV - a	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 IV - b	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 V - a	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 V - b	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 VI - a	2		○	○	○		
		日 本 史 演 習 VI - b	2		○	○	○		
		日 本 史 実 習 - A	1		○	○	○	2	
		日 本 史 実 習 - B	1		○	○	○		
		日 本 史 実 習 - C	1		○	○	○		
	選択② (24 ～ 58 単位)	人文学類開設の史学主専攻の専門科目			○	○	○	24	AC60E・AC60F・AC60G で始まる科目 (AC60E01・AC60F82・ AC60G92を除く)
		人文学類開設の考古学・民俗学 主専攻の専門科目			○	○	○		
		人文学類開設の考古学・民俗学 主専攻の専門基礎科目		○	○	○	○		
		比較文化学類の科目			○	○	○		
		人文学類開設の専門科目・専門 基礎科目（コース指定の専門基 礎科目を除く）		○	○	○	○	0～34	

史学主専攻（ユーラシア史学コース 古代西アジア史サブコース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門基礎科目 (11～20単位)	選択① (11単位)	人文・文化学群3学類が開設する専門導入科目	各1	○				3	対象科目の詳細については別表第1を参照(43頁)
		古代西アジア史概説 - a	1	○	○			1	6
		古代西アジア史概説 - b	1	○	○			1	
		日本史概説Ⅰ - a	1	○	○			6	
		日本史概説Ⅰ - b	1	○	○				
		日本史概説Ⅱ - a	1	○	○				
		日本史概説Ⅱ - b	1	○	○				
		中国史概説 - a	1	○	○				
		中国史概説 - b	1	○	○				
		ヨーロッパ史概説 - a	1	○	○				
		ヨーロッパ史概説 - b	1	○	○				
		歴史地理学概説 - a	1	○	○				
		歴史地理学概説 - b	1	○	○				
	選択②	コース指定の専門基礎科目		○	○			0～9	AC, AE から始まる専門導入科目を除く
専門科目 (54～88単位)	必修 (10単位)	卒業論文(ユーラシア史学)	6				○	6	
		ユーラシア史研究 - a	2				○	2	
		ユーラシア史研究 - b	2				○	2	
	選択① (20単位)	アッカド語初級Ⅰ	1	○	○			4	
		アッカド語初級Ⅱ	1	○	○				
		アッカド語初級Ⅲ	1	○	○				
		アッカド語初級Ⅳ	1	○	○				
		古代西アジア史文献学Ⅰ - a	1		○	○	○	4	
		古代西アジア史文献学Ⅰ - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅱ - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅱ - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅲ - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅲ - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅳ - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅳ - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅴ - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅴ - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅵ - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史文献学Ⅵ - b	1		○	○	○		

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54～88単位)	選択① (20単位)	ヒ ッ タ イ ト 語 初 級 - a	1		○	○	○	4	言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目
		ヒ ッ タ イ ト 語 初 級 - b	1		○	○	○		
		ヘ ブ ル 語 初 級 - a	1		○	○	○		
		ヘ ブ ル 語 初 級 - b	1		○	○	○		
		古 代 エ ジ プ ト 語 初 級 - a	1		○	○	○		
		古 代 エ ジ プ ト 語 初 級 - b	1		○	○	○		
		古 代 エ ジ プ ト 語 中 級 - a	1		○	○	○		
		古 代 エ ジ プ ト 語 中 級 - b	1		○	○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 特 講 I - a	1		○	○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 特 講 I - b	1		○	○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 特 講 II - a	1		○	○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 特 講 II - b	1		○	○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 特 講 III - a	1		○	○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 特 講 III - b	1		○	○	○		
		中 国 史 特 講 I - a	1		○	○	○		
		中 国 史 特 講 I - b	1		○	○	○		
		中 国 史 特 講 II - a	1		○	○	○		
		中 国 史 特 講 II - b	1		○	○	○		
		中 東 ・ 中 央 ア ジ ア 文 化 研 究 I	1		○	○	○	8	比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目
		中 東 ・ 中 央 ア ジ ア 文 化 研 究 II	1		○	○	○		
		中 東 ・ 中 央 ア ジ ア 文 化 研 究 III	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 I	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 II	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 V	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 VI	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 VII	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 VIII	1		○	○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 演 習 I - a	2			○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 演 習 I - b	2			○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 演 習 II - a	2			○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 演 習 II - b	2			○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 演 習 III - a	2			○	○		
		古 代 西 ア ジ ア 史 演 習 III - b	2			○	○		
	選択② (24～58単位)	人文学類開設の専門科目・専門基礎科目（コース指定の専門基礎科目を除く）		○	○	○	○	24～58	

史学主専攻（ユーラシア史学コース 中国史サブコース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考	
				1	2	3	4			
専門基礎科目 (11 ～ 20 単位)	選択① (11 単位)	人 文 ・ 文 化 学 群 3 学 類 が 開 設 す る 専 門 導 入 科 目	各 1	○				3	対象科目の詳細については別表第 1 を参照(43 頁)	
		中 国 史 概 説 - a	1	○	○			1	6	
		中 国 史 概 説 - b	1	○	○			1		
		日 本 史 概 説 I - a	1	○	○			}		
		日 本 史 概 説 I - b	1	○	○					
		日 本 史 概 説 II - a	1	○	○					
		日 本 史 概 説 II - b	1	○	○					
		古 代 西 ア ジ ア 史 概 説 - a	1	○	○					
		古 代 西 ア ジ ア 史 概 説 - b	1	○	○					
		ヨ ー ロ ッ パ 史 概 説 - a	1	○	○					
		ヨ ー ロ ッ パ 史 概 説 - b	1	○	○					
		歴 史 地 理 学 概 説 - a	1	○	○					
		歴 史 地 理 学 概 説 - b	1	○	○					
	選 択 ②	コ ー ス 指 定 の 専 門 基 礎 科 目		○	○			0 ～ 9	AC, AE から始まる専門 導入科目を除く	
専門科目 (54 ～ 88 単位)	必修 (10 単位)	卒 業 論 文 (ユ ー ラ シ ア 史 学)	6				○	6	比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目	
		ユ ー ラ シ ア 史 研 究 - a	2				○	2		
		ユ ー ラ シ ア 史 研 究 - b	2				○	2		
	選択① (20 単位)	中 国 史 文 献 学 I - a	1	○	○	○		}		4
		中 国 史 文 献 学 I - b	1	○	○	○				
		中 国 史 文 献 学 II - a	1	○	○	○				
		中 国 史 文 献 学 II - b	1	○	○	○				
		中 国 史 文 献 学 III - a	1	○	○	○				
		中 国 史 文 献 学 III - b	1	○	○	○				
		満 洲 語 文 語 基 礎 - a	1	○	○	○		}		4
		満 洲 語 文 語 基 礎 - b	1	○	○	○				
		満 洲 語 文 語 - a	1		○	○	○			
		満 洲 語 文 語 - b	1		○	○	○			
		チ ベ ッ ト 語 文 語 基 礎 - a	1		○	○	○			
		チ ベ ッ ト 語 文 語 基 礎 - b	1		○	○	○			
		ア ジ ア の 政 治 と 社 会 演 習 I	1		○	○	○			
		ア ジ ア の 政 治 と 社 会 演 習 II	1		○	○	○			
		ア ジ ア の 政 治 と 社 会 演 習 III	1		○	○	○			
		ア ジ ア の 政 治 と 社 会 演 習 IV	1		○	○	○			
		ア ジ ア の 政 治 と 社 会 演 習 V	1		○	○	○			
ア ジ ア の 政 治 と 社 会 演 習 VI	1		○	○	○					

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88 単位)	選択① (20単位)	中 国 史 特 講 I - a	1		○	○	○	4	比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目
		中 国 史 特 講 I - b	1		○	○	○		
		中 国 史 特 講 II - a	1		○	○	○		
		中 国 史 特 講 II - b	1		○	○	○		
		中東・中央アジア文化研究 I	1		○	○	○		
		中東・中央アジア文化研究 II	1		○	○	○		
		中東・中央アジア文化研究 III	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 I - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 I - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 II - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 II - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 III - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 III - b	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 I	1		○	○	○		比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目
		欧 米 文 化 論 II	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 V	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 VI	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 VII	1		○	○	○		
		欧 米 文 化 論 VIII	1		○	○	○		
		中 国 史 演 習 I - a	2		○	○	○	8	
		中 国 史 演 習 I - b	2		○	○	○		
		中 国 史 演 習 II - a	2		○	○	○		
		中 国 史 演 習 II - b	2		○	○	○		
		中 国 史 演 習 III - a	2		○	○	○		
		中 国 史 演 習 III - b	2		○	○	○		
		選択② (24 ～ 58 単位)	人文学類開設の専門科目・専門 基礎科目（コース指定の専門基 礎科目を除く）		○	○	○	○	24～58

史学主専攻（ユーラシア史学コース ヨーロッパ・アメリカ史サブコース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考	
				1	2	3	4			
専門基礎科目 (11 ～ 20 単位)	選択① (11 単位)	人 文 ・ 文 化 学 群 3 学 類 が 開 設 す る 専 門 導 入 科 目	各 1	○				3	対象科目の詳細については別表第 1 を参照 (43 頁)	
		ヨ ー ロ ッ パ 史 概 説 - a	1	○	○			1	6	
		ヨ ー ロ ッ パ 史 概 説 - b	1	○	○			1		
		日 本 史 概 説 I - a	1	○	○			6		
		日 本 史 概 説 I - b	1	○	○					
		日 本 史 概 説 II - a	1	○	○					
		日 本 史 概 説 II - b	1	○	○					
		古 代 西 ア ジ ア 史 概 説 - a	1	○	○					
		古 代 西 ア ジ ア 史 概 説 - b	1	○	○					
		中 国 史 概 説 - a	1	○	○					
		中 国 史 概 説 - b	1	○	○					
		歴 史 地 理 学 概 説 - a	1	○	○					
		歴 史 地 理 学 概 説 - b	1	○	○					
	選 択 ②	コ ー ス 指 定 の 専 門 基 礎 科 目		○	○			0 ～ 9	AC, AE から始まる専門 導入科目を除く	
専門科目 (54 ～ 88 単位)	必修 (10 単位)	卒 業 論 文 (ユ ー ラ シ ア 史 学)	6				○	6	哲学主専攻開設科目 哲学主専攻開設科目 哲学主専攻開設科目 哲学主専攻開設科目 哲学主専攻開設科目 哲学主専攻開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目	
		ユ ー ラ シ ア 史 研 究 - a	2				○	2		
		ユ ー ラ シ ア 史 研 究 - b	2				○	2		
	選択① (20 単位)	ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 史 基 礎 文 献 講 読 - a	1	○	○			2		4
		ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 史 基 礎 文 献 講 読 - b	1	○	○					
		ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 史 文 献 学 I - a	1		○	○	○	4		
		ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 史 文 献 学 I - b	1		○	○	○			
		ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 史 文 献 学 II - a	1		○	○	○			
		ヨ ー ロ ッ パ ・ ア メ リ カ 史 文 献 学 II - b	1		○	○	○			
		哲 学 演 習 I - a	1		○	○	○			
		哲 学 演 習 I - b	1		○	○	○			
		哲 学 演 習 II - a	1		○	○	○			
		哲 学 演 習 II - b	1		○	○	○			
		哲 学 演 習 III - a	1		○	○	○			
		哲 学 演 習 III - b	1		○	○	○			
		欧 米 文 化 論 演 習 I	1		○	○	○			
		欧 米 文 化 論 演 習 II	1		○	○	○			
		欧 米 文 化 論 演 習 V	1		○	○	○			
		欧 米 文 化 論 演 習 VI	1		○	○	○			
		欧 米 文 化 論 演 習 VII	1		○	○	○			
欧 米 文 化 論 演 習 VIII	1		○	○	○					

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88 単位)	選択① (20単位)	欧 米 文 化 論 I	1		○	○	○	6	比較文化学類開設科目
		欧 米 文 化 論 II	1		○	○	○		比較文化学類開設科目
		欧 米 文 化 論 V	1		○	○	○		比較文化学類開設科目
		欧 米 文 化 論 VI	1		○	○	○		比較文化学類開設科目
		欧 米 文 化 論 VII	1		○	○	○		比較文化学類開設科目
		欧 米 文 化 論 VIII	1		○	○	○		比較文化学類開設科目
		古代西アジア史特講 I - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 I - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 II - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 II - b	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 III - a	1		○	○	○		
		古代西アジア史特講 III - b	1		○	○	○		
		中国史特講 I - a	1		○	○	○		
		中国史特講 I - b	1		○	○	○		
		中国史特講 II - a	1		○	○	○		
		中国史特講 II - b	1		○	○	○		
		中東・中央アジア文化研究 I	1		○	○	○	8	比較文化学類開設科目
		中東・中央アジア文化研究 II	1		○	○	○		比較文化学類開設科目
		中東・中央アジア文化研究 III	1		○	○	○		比較文化学類開設科目
		ヨーロッパ・アメリカ史演習 I - a	2			○	○		
		ヨーロッパ・アメリカ史演習 I - b	2			○	○		
		ヨーロッパ・アメリカ史演習 II - a	2			○	○		
		ヨーロッパ・アメリカ史演習 II - b	2			○	○		
		ヨーロッパ・アメリカ史演習 III - a	2			○	○		
		ヨーロッパ・アメリカ史演習 III - b	2			○	○		
	選択② (24 ～ 58 単位)	人文学類開設の専門科目・専門 基礎科目（コース指定の専門基 礎科目を除く）		○	○	○	○	24～58	

史学主専攻（歴史地理学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考		
				1	2	3	4				
専門基礎科目 (11～20単位)	選択① (11単位)	人 文 ・ 文 化 学 群 3 学 類 が 開 設 す る 専 門 導 入 科 目	各 1	○				3	対象科目の詳細については別表第 1 を参照(43 頁)		
		歴 史 地 理 学 概 説 - a	1	○	○			1	6		
		歴 史 地 理 学 概 説 - b	1	○	○			1			
		日 本 史 概 説 I - a	1	○	○			}			
		日 本 史 概 説 I - b	1	○	○						
		日 本 史 概 説 II - a	1	○	○						
		日 本 史 概 説 II - b	1	○	○						
		古 代 西 ア ジ ア 史 概 説 - a	1	○	○						
		古 代 西 ア ジ ア 史 概 説 - b	1	○	○						
		中 国 史 概 説 - a	1	○	○						
		中 国 史 概 説 - b	1	○	○						
		ヨ ー ロ ッ パ 史 概 説 - a	1	○	○						
		ヨ ー ロ ッ パ 史 概 説 - b	1	○	○						
	選 択 ②	コ ー ス 指 定 の 専 門 基 礎 科 目		○	○			0 ～ 9	AC, AE から始まる専門 導入科目を除く		
専門科目 (54～88単位)	必修 (10単位)	卒 業 論 文 (歴 史 地 理 学)	6				○	6	地球学類開設科目 地球学類開設科目 地球学類開設科目 地球学類開設科目 地球学類開設科目 地球学類開設科目 地球学類開設科目		
		歴 史 地 理 学 研 究 - a	2				○	2			
		歴 史 地 理 学 研 究 - b	2				○	2			
	選択① (20単位)	歴 史 地 誌 学 - a	1		○	○		}		4	
		歴 史 地 誌 学 - b	1		○	○					
		歴 史 地 理 学 研 究 法 - a	1		○	○					
		歴 史 地 理 学 研 究 法 - b	1		○	○					
		歴 史 地 理 学 特 講 - a	1		○	○					
		歴 史 地 理 学 特 講 - b	1		○	○					
		人 文 地 理 学	1		○	○					
		地 誌 学	1		○	○					
		都 市 地 理 学	1			○	○	}		4	
		農 村 地 理 学	1			○	○				
		観 光 地 域 論	1			○	○				
		経 済 地 域 論	1			○	○				
		歴 史 地 理 学 文 献 演 習 I - a	1		○	○	○				
		歴 史 地 理 学 文 献 演 習 I - b	1		○	○	○				
		歴 史 地 理 学 文 献 演 習 II - a	1		○	○	○				
		歴 史 地 理 学 文 献 演 習 II - b	1		○	○	○				
		歴 史 地 理 学 文 献 演 習 III - a	1		○	○	○				
歴 史 地 理 学 文 献 演 習 III - b	1		○	○	○						

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88 単位)	選択① (20単位)	歴 史 地 理 学 演 習 I - a	2		○	○	○	8	
		歴 史 地 理 学 演 習 I - b	2		○	○	○		
		歴 史 地 理 学 演 習 II - a	2		○	○	○		
		歴 史 地 理 学 演 習 II - b	2		○	○	○		
		歴 史 地 理 学 演 習 III - a	2		○	○	○		
		歴 史 地 理 学 演 習 III - b	2		○	○	○		
		歴 史 地 理 学 実 習 - A	2		○	○	○	4	
		歴 史 地 理 学 実 習 - B	2		○	○	○		
		歴 史 地 理 学 実 習 - C	2		○	○	○		
	選択② (24 ～ 58 単位)	人文学類開設の専門科目・専門 基礎科目（コース指定の専門基 礎科目を除く）		○	○	○	○	24 ～ 58	

考古学・民俗学主専攻（先史学・考古学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門基礎科目 (11～16単位)	選択① (11単位)	人 文 ・ 文 化 学 群 3 学 類 が 開 設 す る 専 門 導 入 科 目	各 1	○				3	対象科目の詳細については別表第 1 を参照(43 頁)
		先 史 学 概 説 - a	1	○	○			4	比較文化学類開設科目
		先 史 学 概 説 - b	1	○	○				
		考 古 学 概 説 - a	1	○	○				
		考 古 学 概 説 - b	1	○	○				
		民 俗 学 概 説	1	○	○			4	
		民 俗 学 概 論	1	○	○				
		文 化 人 類 学 概 説	1	○	○				
	文 化 人 類 学 概 論	1	○	○					
	選択②	コ ー ス 指 定 の 専 門 基 礎 科 目		○	○			0 ～ 5	AC, AE から始まる専門 導入科目を除く
専門科目 (54～88単位)	必修 (10単位)	卒 業 論 文 (先 史 学 ・ 考 古 学)	6				○	6	
		先 史 学 ・ 考 古 学 研 究 - a	2				○	2	
		先 史 学 ・ 考 古 学 研 究 - b	2				○	2	
	選択① (20単位)	物 質 資 料 研 究 法 - a	1	○	○			3	
		物 質 資 料 研 究 法 - b	1	○	○				
		物 質 資 料 研 究 法 - c	1	○	○				
		先 史 学 ・ 考 古 学 外 書 講 読 I - a	1		○	○		2	
		先 史 学 ・ 考 古 学 外 書 講 読 I - b	1		○	○			
		先 史 学 ・ 考 古 学 外 書 講 読 II - a	1		○	○			
		先 史 学 ・ 考 古 学 外 書 講 読 II - b	1		○	○			
		先 史 学 特 講 I - a	1		○	○	○	6	
		先 史 学 特 講 I - b	1		○	○	○		
		先 史 学 特 講 II - a	1		○	○	○		
		先 史 学 特 講 II - b	1		○	○	○		
		先 史 学 特 講 III - a	1		○	○	○		
		先 史 学 特 講 III - b	1		○	○	○		
		先 史 学 特 講 IV - a	1		○	○	○		
		先 史 学 特 講 IV - b	1		○	○	○		
		考 古 学 特 講 I - a	1		○	○	○		
		考 古 学 特 講 I - b	1		○	○	○		
考 古 学 特 講 II - a	1		○	○	○				
考 古 学 特 講 II - b	1		○	○	○				

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88 単位)	選択 ① (20 単位)	考古学特講Ⅲ - a	1		○	○	○	6	
		考古学特講Ⅲ - b	1		○	○	○		
		考古学特講Ⅳ - a	1		○	○	○		
		考古学特講Ⅳ - b	1		○	○	○		
		考古学方法論Ⅰ - a	1		○	○			
		考古学方法論Ⅰ - b	1		○	○			
		考古学方法論Ⅱ - a	1		○	○			
		考古学方法論Ⅱ - b	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅰ - a	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅰ - b	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅰ - c	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅱ - a	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅱ - b	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅱ - c	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅲ - a	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅲ - b	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅲ - c	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅳ - a	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅳ - b	1		○	○			
		先史学・考古学演習Ⅳ - c	1		○	○			
		先史学実習 - A	1		○	○	○		
		先史学実習 - B	1		○	○	○		
		先史学実習 - C	1		○	○	○		
		先史学実習 - D	1		○	○	○		
		考古学実習 - A	1		○	○	○		
		考古学実習 - B	1		○	○	○		
		考古学実習 - C	1		○	○	○		
		考古学実習 - D	1		○	○	○		
	選択 ② (24 ～ 58 単位)	人文学類考古学・民俗学主専攻 の専門科目（選択①に記載され たもの）			○	○	○	24	
		人文学類開設の哲学主専攻・史 学主専攻の専門科目			○	○	○		
		人文学類開設の専門科目・専門 基礎科目（コース指定の専門基 礎科目を除く）		○	○	○	○	0～34	

考古学・民俗学主専攻（民俗学・文化人類学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門基礎科目 (11～16単位)	選択① (11単位)	人文・文化学群3学類が開設する専門導入科目	各1	○				3	対象科目の詳細については別表第1を参照(43頁)
		民俗学概説	1	○	○			4	比較文化学類開設科目
		民俗学概論	1	○	○				
		文化人類学概説	1	○	○				
		文化人類学概論	1	○	○				
		先史学概説 - a	1	○	○			4	比較文化学類開設科目
		先史学概説 - b	1	○	○				
		考古学概説 - a	1	○	○				
		考古学概説 - b	1	○	○				
	選択②	コース指定の専門基礎科目		○	○			0～5	AC, AE から始まる専門導入科目を除く
専門科目 (54～88単位)	必修 (10単位)	卒業論文（民俗学・文化人類学）	6				○	6	
		民俗学・文化人類学研究 - a	2				○	2	
		民俗学・文化人類学研究 - b	2				○	2	
	選択① (20単位)	民俗学特講 - a	1		○	○	○	8	比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目
		民俗学特講 - b	1		○	○	○		
		民俗学特講 - c	1		○	○	○		
		民俗史料講義 - a	1		○	○	○		
		民俗史料講義 - b	1		○	○	○		
		民俗史料講義 - c	1		○	○	○		
		民俗学研究Ⅰ	1		○	○	○		
		民俗学研究Ⅱ	1		○	○	○		
		日本研究特論	1		○	○	○		
		日本の生活と文化	1		○	○	○		
		文化人類学講義Ⅰ - a	1		○	○	○		
		文化人類学講義Ⅰ - b	1		○	○	○		
		文化人類学講義Ⅱ - a	1		○	○	○		
		文化人類学講義Ⅱ - b	1		○	○	○		
		文化人類学研究Ⅰ	1		○	○	○		比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目
		文化人類学研究Ⅱ	1		○	○	○		
		文化人類学研究Ⅲ	1		○	○	○		

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54～88単位)	選択① (20単位)	民 俗 学 演 習 - a	1		○	○	○	6	比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目
		民 俗 学 演 習 - b	1		○	○	○		
		民 俗 学 演 習 - c	1		○	○	○		
		比 較 民 俗 学 演 習 - a	1		○	○	○		
		比 較 民 俗 学 演 習 - b	1		○	○	○		
		比 較 民 俗 学 演 習 - c	1		○	○	○		
		民 俗 学 研 究 法 - a	1			○			
		民 俗 学 研 究 法 - b	1			○			
		民 俗 学 研 究 法 - c	1			○			
		民 俗 学 研 究 演 習 I	1		○	○	○		
		民 俗 学 研 究 演 習 II	1		○	○	○		
		民 俗 学 研 究 演 習 V	1		○	○	○		
		民 俗 学 研 究 演 習 VI	1		○	○	○		
		文 化 人 類 学 演 習 I - a	1		○	○	○	2	比較文化学類開設科目 比較文化学類開設科目
		文 化 人 類 学 演 習 I - b	1		○	○	○		
		文 化 人 類 学 演 習 II - a	1		○	○	○		
		文 化 人 類 学 演 習 II - b	1		○	○	○		
		文 化 人 類 学 研 究 演 習 I	1		○	○	○		
		文 化 人 類 学 研 究 演 習 II	1		○	○	○		
		民 俗 学 調 査 法 - A	1		○	○	○		
		民 俗 学 調 査 法 - B	1		○	○	○		
		文 化 人 類 学 調 査 法 - A	1		○	○	○		
		文 化 人 類 学 調 査 法 - B	1		○	○	○		
	選択② (24～58単位)	民 俗 学 実 習 - A	2		○	○	○	4	
		民 俗 学 実 習 - B	2		○	○	○		
		文 化 人 類 学 実 習 - A	2		○	○	○		
		文 化 人 類 学 実 習 - B	2		○	○	○		
	選択② (24～58単位)	人文学類考古学・民俗学主専攻の専門科目（選択①に記載されたもの）			○	○	○	24	
		人文学類開設の哲学主専攻、史学主専攻の専門科目			○	○	○		
		人文学類開設の専門科目・専門基礎科目（コース指定の専門基礎科目を除く）		○	○	○	○	0～34	

言語学主専攻（一般言語学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考	
				1	2	3	4			
専門基礎科目（11～21単位）	選択①（11単位）	人 文 ・ 文 化 学 群 3 学 類 が 開 設 す る 専 門 導 入 科 目	各 1	○				3	対象科目の詳細については別表第 1 を参照(43 頁)	
		言 語 学 概 論 a	1	○	○			2		
		言 語 学 概 論 b	1	○	○					
		応 用 言 語 学 概 論 a	1	○	○			6		
		応 用 言 語 学 概 論 b	1	○	○					
		日 本 語 学 概 論 a	1	○	○					
		日 本 語 学 概 論 b	1	○	○					
		英 語 学 概 論 a	1	○	○					
		英 語 学 概 論 b	1	○	○					
		音 声 学 概 論	1	○	○					
		中 国 語 学 概 論	1	○	○					
		仏 語 学 概 論	1	○	○					
		独 語 学 概 論	1	○	○					
		露 語 学 概 論	1	○	○					
	選 択 ②	コ ー ス 指 定 の 専 門 基 礎 科 目		○	○				0 ～ 10	
専門科目（54～88単位）	必修（10単位）	卒 業 論 文（一 般 言 語 学）	6				○	6		
		一 般 言 語 学 研 究 - a	2				○	2		
		一 般 言 語 学 研 究 - b	2				○	2		
	選 択 ①（18単位）	人 文 情 報 学	1	○	○	○	○	8		
		実 験 音 声 学	1		○	○				
		実 験 言 語 学	1		○	○				
		実 験 言 語 ・ 音 声 学	1		○	○				
		歴 史 言 語 学	1		○	○				
		記 述 言 語 学	1		○	○				
		言 語 政 策 論 - a	1		○	○				
		言 語 政 策 論 - b	1		○	○				
		中 国 言 語 文 化 論 - a	1		○	○				
		中 国 言 語 文 化 論 - b	1		○	○				
		中 国 語 学 講 義 - a	1		○	○				
		中 国 語 学 講 義 - b	1		○	○				
		ド イ ツ 語 学 講 義 I - a	1		○	○				
		ド イ ツ 語 学 講 義 I - b	1		○	○				
		ド イ ツ 語 学 講 義 II - a	1		○	○				
		ド イ ツ 語 学 講 義 II - b	1		○	○				
		仏 語 音 声 学 ・ 音 韻 論 - a	1	○	○					
		仏 語 音 声 学 ・ 音 韻 論 - b	1	○	○					

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88単位)	選択① (18単位)	仏 語 文 法 論 - a	1			○		6	言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目
		仏 語 文 法 論 - b	1			○			
		仏 語 意 味 論 - a	1			○			
		仏 語 意 味 論 - b	1			○			
		露 語 文 法 論 - a	1		○				
		露 語 文 法 論 - b	1		○				
		露 語 音 声 学 ・ 音 韻 論 - a	1		○	○			
		露 語 音 声 学 ・ 音 韻 論 - b	1		○	○			
		比較・対照言語論Ⅰ - a	1		○	○	○		
		比較・対照言語論Ⅰ - b	1		○	○	○		
		比較・対照言語論Ⅱ - a	1		○	○	○		
		比較・対照言語論Ⅱ - b	1		○	○	○		
		一般言語学演習Ⅰ - a	1		○	○	○		
		一般言語学演習Ⅰ - b	1		○	○	○		
		一般言語学演習Ⅱ - a	1		○	○	○		
		一般言語学演習Ⅱ - b	1		○	○	○		
		一般言語学特殊演習Ⅰ - a	1		○	○	○		
		一般言語学特殊演習Ⅰ - b	1		○	○	○		
		中国語学演習Ⅰ - a	1			○	○		
		中国語学演習Ⅰ - b	1			○	○		
		中国語学演習Ⅱ - a	1			○	○		
		中国語学演習Ⅱ - b	1			○	○		
		ドイツ語学演習Ⅰ - a	1		○	○			
		ドイツ語学演習Ⅰ - b	1		○	○			
		ドイツ語学演習Ⅱ - a	1			○	○		
		ドイツ語学演習Ⅱ - b	1			○	○		
		仏 語 学 演 習Ⅰ - a	1			○	○		
		仏 語 学 演 習Ⅰ - b	1			○	○		
		仏 語 学 演 習Ⅱ - a	1			○	○		
		仏 語 学 演 習Ⅱ - b	1			○	○		
		露 語 学 演 習Ⅰ - a	1		○	○	○		
		露 語 学 演 習Ⅰ - b	1		○	○	○		
		露 語 学 演 習Ⅱ - a	1		○	○	○		
		露 語 学 演 習Ⅱ - b	1		○	○	○		
		ベトナム語初級 - a	1	○	○	○	○		
		ベトナム語初級 - b	1	○	○	○	○		
		ヘブル語初級 - a	1	○	○	○	○		
		ヘブル語初級 - b	1	○	○	○	○		
		古代エジプト語初級 - a	1	○	○	○	○		
		古代エジプト語初級 - b	1	○	○	○	○		

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88 単位)	選択① (18単位)	古代エジプト語中級 - a	1	○	○	○	○	4	史学主専攻開設科目
		古代エジプト語中級 - b	1	○	○	○	○		
		アツカド語初級 I	1	○	○				
		アツカド語初級 II	1	○	○				
		アツカド語初級 III	1	○	○				
		アツカド語初級 IV	1	○	○				
		ヒッタイト語初級 - a	1	○	○				
		ヒッタイト語初級 - b	1	○	○				
		中国語文法演習 - a	1		○	○			
		中国語文法演習 - b	1		○	○			
		中国語演習 - a	1		○	○			
		中国語演習 - b	1		○	○			
		ドイツ語演習 I - a	1	○	○	○			
		ドイツ語演習 I - b	1	○	○	○			
		ドイツ語演習 II - a	1	○	○	○			
		ドイツ語演習 II - b	1	○	○	○			
		仏語文法講読 - a	1		○				
		仏語文法講読 - b	1		○				
		仏語演習 - a	1		○	○			
		仏語演習 - b	1		○	○			
		ロシア語演習 I - a	1	○	○				
		ロシア語演習 I - b	1	○	○				
		ロシア語演習 II - a	1	○	○				
		ロシア語演習 II - b	1	○	○				
		露語会話作文演習 - a	1			○	○		
		露語会話作文演習 - b	1			○	○		
		ロシア言語文化特講 - a	1		○	○	○		
		ロシア言語文化特講 - b	1		○	○	○		
	選択② (26 ～ 60 単位)	人文学類開設の専門科目・専門 基礎科目（コース指定の専門基 礎科目を除く）		○	○	○	○	26～60	

言語学主専攻（応用言語学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門基礎科目 (11～21単位)	選択① (11単位)	人文・文化学群3学類が開設する専門導入科目	各1	○				3	対象科目の詳細については別表第1を参照（43頁）
		応用言語学概論 a	1	○	○			2	
		応用言語学概論 b	1	○	○				
		言語学概論 a	1	○	○			6	
		言語学概論 b	1	○	○				
		日本語学概論 a	1	○	○				
		日本語学概論 b	1	○	○				
		英語学概論 a	1	○	○				
		英語学概論 b	1	○	○				
		音声学概論	1	○	○				
		中国語学概論	1	○	○				
		仏語学概論	1	○	○				
		独語学概論	1	○	○				
		露語学概論	1	○	○				
	選択②	コース指定の専門基礎科目		○	○			0～10	AC, AE から始まる専門導入科目を除く
専門科目 (54～88単位)	必修 (10単位)	卒業論文（応用言語学）	6				○	6	一般言語学コース開設科目 一般言語学コース開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目
		応用言語学研究 - a	2				○	2	
		応用言語学研究 - b	2				○	2	
	選択① (18単位)	応用言語学講義Ⅰ - a	1	○	○			8	
		応用言語学講義Ⅰ - b	1	○	○				
		応用言語学講義Ⅱ - a	1	○	○				
		応用言語学講義Ⅱ - b	1	○	○				
		応用言語学講義Ⅲ - a	1	○	○				
		応用言語学講義Ⅲ - b	1	○	○				
		応用言語学講義Ⅳ - a	1	○	○				
		応用言語学講義Ⅳ - b	1	○	○				
		実験音声学	1		○	○			
		実験言語学	1		○	○			
		比較・対照言語論Ⅰ - a	1		○	○	○		
		比較・対照言語論Ⅰ - b	1		○	○	○		
		比較・対照言語論Ⅱ - a	1		○	○	○		
		比較・対照言語論Ⅱ - b	1		○	○	○		

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目（54 ～ 88単位）	選択① （18単位）	応 用 言 語 学 演 習 I - a	1		○	○		4	英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 英語学コース開設科目 日本語学コース開設科目 日本語学コース開設科目 日本語学コース開設科目 日本語学コース開設科目
		応 用 言 語 学 演 習 I - b	1		○	○			
		応 用 言 語 学 演 習 II - a	1		○	○			
		応 用 言 語 学 演 習 II - b	1		○	○			
		応 用 言 語 学 演 習 III - a	1		○	○			
		応 用 言 語 学 演 習 III - b	1		○	○			
		応 用 言 語 学 演 習 IV - a	1		○	○			
		応 用 言 語 学 演 習 IV - b	1		○	○			
		外 書 講 読 I - a	1	○	○	○		4	
		外 書 講 読 I - b	1	○	○	○			
		外 書 講 読 II - a	1	○	○	○			
		外 書 講 読 II - b	1	○	○	○			
		英 語 論 文 講 読 (1) - a	1	○	○				
		英 語 論 文 講 読 (1) - b	1	○	○				
		英 語 論 文 講 読 (2) - a	1	○	○				
		英 語 論 文 講 読 (2) - b	1	○	○				
		英 語 論 文 講 読 (3) - a	1		○	○		2	
		英 語 論 文 講 読 (3) - b	1		○	○			
		英 語 論 文 講 読 (4) - a	1		○	○			
		英 語 論 文 講 読 (4) - b	1		○	○			
		応 用 言 語 学 特 講 I - a	1			○	○		
		応 用 言 語 学 特 講 I - b	1			○	○		
		応 用 言 語 学 特 講 II - a	1			○	○		
		応 用 言 語 学 特 講 II - b	1			○	○		
		日 本 語 音 韻 論 - a	1		○	○	○		
		日 本 語 音 韻 論 - b	1		○	○	○		
		日 本 語 文 法 論 - a	1		○	○	○		
		日 本 語 文 法 論 - b	1		○	○	○		
	選 択 ② （26 ～ 60単位）	人文学類開設の専門科目・専門基礎科目（コース指定の専門基礎科目を除く）		○	○	○	○	26 ～ 60	

言語学主専攻（日本語学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考	
				1	2	3	4			
専門基礎科目 (11～21単位)	選択① (11単位)	人文・文化学群3学類が開設する専門導入科目	各1	○				3	対象科目の詳細については別表第1を参照（43頁）	
		日本語学概論 - a	1	○	○			2		
		日本語学概論 - b	1	○	○					
		言語学概論 - a	1	○	○			6		
		言語学概論 - b	1	○	○					
		応用言語学概論 - a	1	○	○					
		応用言語学概論 - b	1	○	○					
		英語学概論 - a	1	○	○					
		英語学概論 - b	1	○	○					
		音声学概論	1	○	○					
		中国語学概論	1	○	○					
		仏語学概論	1	○	○					
		独語学概論	1	○	○					
		露語学概論	1	○	○					
	選択②	コース指定の専門基礎科目		○	○			0～10	AC, AE から始まる専門導入科目を除く	
専門科目 (54～88単位)	必修 (10単位)	卒業論文（日本語学）	6				○	6		
		日本語学研究 - a	2				○	2		
		日本語学研究 - b	2				○	2		
	選択① (18単位)	日本語音韻論 - a	1		○	○	○	4		
		日本語音韻論 - b	1		○	○	○			
		日本語文法論 - a	1		○	○	○			
		日本語文法論 - b	1		○	○	○			
		日本語史 - a	1		○	○	○			
		日本語史 - b	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅰ - a	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅰ - b	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅱ - a	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅱ - b	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅲ - a	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅲ - b	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅳ - a	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅳ - b	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅴ - a	1		○	○	○			
		日本語学講読Ⅴ - b	1		○	○	○			

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
				1	2	3	4		
専門科目 (54 ～ 88単位)	選択① (18単位)	日 本 語 学 講 読 VI - a	1		○	○	○	10	応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目
		日 本 語 学 講 読 VI - b	1		○	○	○		
		応 用 言 語 学 講 義 I - a	1		○	○			
		応 用 言 語 学 講 義 I - b	1		○	○			
		応 用 言 語 学 講 義 II - a	1		○	○			
		応 用 言 語 学 講 義 II - b	1		○	○			
		応 用 言 語 学 講 義 III - a	1		○	○			
		応 用 言 語 学 講 義 III - b	1		○	○			
		応 用 言 語 学 講 義 IV - a	1		○	○			
		応 用 言 語 学 講 義 IV - b	1		○	○			
		比 較 ・ 対 照 言 語 論 I - a	1		○	○	○		
		比 較 ・ 対 照 言 語 論 I - b	1		○	○	○		
		比 較 ・ 対 照 言 語 論 II - a	1		○	○	○		
		比 較 ・ 対 照 言 語 論 II - b	1		○	○	○		
		日 本 語 学 演 習 I - a	1		○				
		日 本 語 学 演 習 I - b	1		○				
		日 本 語 学 演 習 II - a	1			○			
		日 本 語 学 演 習 II - b	1			○			
	日 本 語 学 演 習 III - a	1				○			
	日 本 語 学 演 習 III - b	1				○			
		選択② (26 ～ 60単位)	人文学類開設の専門科目・専門基礎科目（コース指定の専門基礎科目を除く）		○	○	○	○	26 ～ 60

言語学主専攻（英語学コース）

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考	
				1	2	3	4			
専門基礎科目 (11～21単位)	選択① (11単位)	人文・文化学群3学類が開設する専門導入科目	各1	○				3	対象科目の詳細については別表第1を参照（43頁）	
		英語学概論 - a	1	○	○			2		
		英語学概論 - b	1	○	○					
		言語学概論 - a	1	○	○			6		
		言語学概論 - b	1	○	○					
		応用言語学概論 - a	1	○	○					
		応用言語学概論 - b	1	○	○					
		日本語学概論 - a	1	○	○					
		日本語学概論 - b	1	○	○					
		音声学概論	1	○	○					
		中国語学概論	1	○	○					
		仏語学概論	1	○	○					
		独語学概論	1	○	○					
		露語学概論	1	○	○					
	選択②	コース指定の専門基礎科目		○	○			0～10	AC, AE から始まる専門導入科目を除く	
専門科目 (54～88単位)	必修 (10単位)	卒業論文（英語学）	6				○	6	言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目 言語学主専攻開設科目	
		英語学研究 - a	2				○	2		
		英語学研究 - b	2				○	2		
	選択① (18単位)	英語文法論・統語論 (1) - a	1	○	○			8		
		英語文法論・統語論 (1) - b	1	○	○					
		英語文法論・統語論 (2) - a	1	○	○					
		英語文法論・統語論 (2) - b	1	○	○					
		英語意味論・語用論 (1) - a	1		○	○				
		英語意味論・語用論 (1) - b	1		○	○				
		英語意味論・語用論 (2) - a	1		○	○				
		英語意味論・語用論 (2) - b	1		○	○				
		英語音韻論・形態論 (1) - a	1		○	○				
		英語音韻論・形態論 (1) - b	1		○	○				
		英語音韻論・形態論 (2) - a	1		○	○				
		英語音韻論・形態論 (2) - b	1		○	○				
		比較・対照言語論 I - a	1		○	○	○			
		比較・対照言語論 I - b	1		○	○	○			
		比較・対照言語論 II - a	1		○	○	○			
		比較・対照言語論 II - b	1		○	○	○			

種別		科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考		
				1	2	3	4				
専門科目 (54 ～ 88単位)	選択① (18単位)	英語論文講読(1) - a	1	○	○			8	応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目 応用言語学コース開設科目		
		英語論文講読(1) - b	1	○	○						
		英語論文講読(2) - a	1	○	○						
		英語論文講読(2) - b	1	○	○						
		英語論文講読(3) - a	1		○	○					
		英語論文講読(3) - b	1		○	○					
		英語論文講読(4) - a	1		○	○					
		英語論文講読(4) - b	1		○	○					
		外 書 講 読 I - a	1	○	○	○					
		外 書 講 読 I - b	1	○	○	○					
		外 書 講 読 II - a	1	○	○	○					
		外 書 講 読 II - b	1	○	○	○					
		英語学演習(1) - a	1		○	○	○				
		英語学演習(1) - b	1		○	○	○				
		英語学演習(2) - a	1		○	○	○				
		英語学演習(2) - b	1		○	○	○				
		英語学演習(3) - a	1		○	○	○				
		英語学演習(3) - b	1		○	○	○				
		英語学演習(4) - a	1		○	○	○				
		英語学演習(4) - b	1		○	○	○				
		英語学論文演習 - a	1			○					
		英語学論文演習 - b	1			○					
	選択② (26 ～ 60単位)	人文学類開設の専門科目・専門基礎科目（コース指定の専門基礎科目を除く）			○	○	○	○		26 ～ 60	

別表第1

科 目	単位	標準履修年次				指定履修 単 位	備 考
		1	2	3	4		
哲 学 ・ 宗 教 学 入 門	1	○				3	人文学類開設
史 学 入 門	1	○					人文学類開設
考 古 学 ・ 民 俗 学 入 門	1	○					人文学類開設
言 語 分 析 学 入 門	1	○					人文学類開設
個 別 言 語 学 入 門	1	○					人文学類開設
日本・アジア領域比較文化研究	1	○					比較文化学類開設
英米・ヨーロッパ領域比較文化研究	1	○					比較文化学類開設
フィールド文化領域比較文化研究	1	○					比較文化学類開設
表現文化領域比較文化研究	1	○					比較文化学類開設
文化科学領域比較文化研究	1	○					比較文化学類開設
思想文化領域比較文化研究	1	○					比較文化学類開設
共生のための社会言語学	1	○					日本語・日本文化学類開設
共生のための日本語教育	1	○					日本語・日本文化学類開設
共生のための人類学	1	○					日本語・日本文化学類開設
共生のための歴史学	1	○					日本語・日本文化学類開設
日 本 文 学 と 文 化	1	○					日本語・日本文化学類開設

